

2009 AUTOBACS SUPER GT Round9 もてぎ GT 250km レース

2009 AUTOBACS SUPER GT ROUND9

MOTEGI GT 250KM RACE
11.7 SuperLap **8** Race
sat 8 sun
TWIN RING MOTEGI
ツインリンクもてぎ ロードコース1周 4,801km

- 大会名称：2009 AUTOBACS SUPER GT Round9 もてぎ GT 250km レース
- 併催レース：2009 NISSAN MARCH Champion Cup
 ホンダ エキサイトینگカップ ワンメイクレース 2009 ~シビック シリーズ~インターシリーズ Rd.7
- 主催：エムオースポーツクラブ (M. O. S. C.) / 株式会社モビリティランド
- 公認：国際自動車連盟(FIA) / 社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定：GTアソシエーション

栄光の歴史に終止符！

Honda NSX、ツインリンクもてぎでラストラン！！



これまで国内外のレースで大活躍。SUPER GTシリーズには97年から参戦(当時はJGTC=全日本GT選手権)し、2000年には道上龍が、07年にはR・ファーマン/伊藤大輔組がGT500クラスのドライバーズチャンピオンとチームチャンピオンのダブルタイトルを獲得。04年にはGT300クラスでもチャンピオンに輝くなど、輝かしい足跡を残してきたHonda NSXが、今シーズン最終戦、ツインリンクもてぎラウンドで栄光の歴史に幕を閉じることになった。Hondaが参戦終了を発表したもので、同時に来年以降は新しいレーシングマシンでSUPER GTシリーズを戦うことも明らかになった。

1990年にミッドシップエンジンの本格的なスポーツカーとして登場。当時は日本で唯一のスーパーカーとも称され、翌91年にはNSXのエンジンを搭載したACURA SPICEがアメリカIMSAシリーズに参戦し、2年連続ドライバーズ、マニュファクチャラーズのダブルタイトルを獲得。

94年からル・マン24時間レースに参戦し、95年には高橋国光/土屋圭市/飯田彰組がGT2クラスで優勝。同年には鈴鹿1000km耐久レースでも高橋国光組がGTクラス優勝を飾り、JGTC、SUPER GTでの活躍につながっていった。

まさにNSXの歴史はモータースポーツの歴史と言ってもいいほどだ。そのNSXが見られるのもこれが最後となる。その雄姿を、走り、しっかりと瞬時に焼き付けてもらいたい。

NSX(GT500クラス)の軌跡

※JGTC(全日本GT選手権 ~2004年)/SUPER GT(2005年~) ※2009年第8戦まで

初参戦	1997年第2戦 ALL JAPAN FUJI GT RACE(富士スピードウェイ)
初ポール・ポジション	1997年第5戦 CP MINE GT RACE(CP MINEサーキット) 黒澤琢弥/山本勝巳組(avex童夢無限NSX)
初優勝	1998年第4戦 JAPAN SPECIAL GT CUP(富士スピードウェイ) 山西康司/T・コロネル組(Mobil 1 NSX)
参戦レース数	105戦
ポール・ポジション獲得回数	49回
優勝回数	36回
ドライバーズチャンピオン	2000年:道上龍(Castrol 無限 NSX) 2007年:伊藤大輔/R・ファーマン(ARTA NSX)
チームチャンピオン	2000年:無限×童夢 プロジェクト(Castrol 無限 NSX)(TAKATA 童夢 NSX) 2007年:AUTOBACS RACING TEAM AGURI(ARTA NSX)

株式会社 モビリティランド ツインリンクもてぎ

〒321-3597 栃木県芳賀郡茂木町松山120-1

TEL (0285)64-0001

FAX (0285)64-0009

 URL <http://www.twinring.jp/>

GT500、チャンピオン争いは接戦のまま最終ツインリンクもてぎラウンドへー！ 本山哲組GT-R 脇阪寿一組SC430 R・ファーマン組NSX 三つ巴のラストバトルが始まる！！



本山哲／B・トレルイエ組MOTUL GT-R



R・ファーマン／伊沢拓也組ARTA NSX



脇阪寿一／A・ロッテラー組トムスSC430

今年のSUPER GTシリーズ、ツインリンクもてぎラウンドは、最終第9戦と同時にGT500クラス、GT300クラスともにシリーズチャンピオン決定の舞台となった。

注目のGT500は昨年のチャンピオンMOTUL GT-Rの本山哲／B・トレルイエ組が今年も強さを発揮。第3戦で優勝を飾ると、その後も着実にポイントを重ね、ポイントランキングトップに君臨してきた。一時は2年連続のタイトル獲得かと思われたが、ライバルたちの逆襲が始まったのだ。

第7戦で一昨年、07年のチャンピオンチーム、ARTA NSXのR・ファーマン／伊沢拓也組が今季初優勝を飾ると、続く第8戦で06年のチャンピオン、トムスSC430の脇阪寿一／A・ロッテラー組が今季初優勝。

この結果チャンピオン争いは、前半戦で2勝を記録した本山哲／B・トレルイエ組が78(トレルイエは1戦欠場で73)ポイントでトップを守っているが、SC430脇阪寿一組が73ポイントに伸ばし、5ポイント差で、NSX、R・ファーマン組も61ポイントを獲得。17ポイント差でツインリンクもてぎに臨むことになった。

ポイント的に優勝(20ポイント獲得)しか可能性がないNSX、R・ファーマン組だが、ここツインリンクもてぎは伝統的にNSXが得意とするコース。ファーマン組は昨年のもてぎラウンドで予選、決勝ともに2位に食い込んでいるし、一昨年は童夢NSXが、06年はRAYBRIG・NSXがともに予選PP(ポール・ポジション)から優勝を飾っているほど。

さらにはこのレースがNSXラストランになるだけに負けるわけにはいかない。当然ファーマンも気合が入る。「マシンの調子もいい。もてぎは勝てると思うし、勝つ自信がある」と。こうなるとタイトル争いは横一戦と考えてもいいだろう。世界を代表する3メーカーのスポーツマシン GT-R、SC430、NSXがその威信をかけて、秋のツインリンクもてぎで、今シーズン最後の戦いに臨むことになった。

GT500ポイントランキング(第8戦終了時点)

Pos.	No.	ドライバー	マシン	ポイント
1	1	本山哲	GT-R	78
2	1	B・トレルイエ	GT-R	73
3	36	脇阪寿一／A・ロッテラー	SC430	73
4	8	R・ファーマン／伊沢拓也	NSX	61
5	3	R・クインタレッリ／安田裕信	GT-R	49
6	18	道上龍／小暮卓史	NSX	49
7	24	JP・デ・オリベイラ／荒聖治	GT-R	48
8	35	石浦宏明／大嶋和也	SC430	42
9	38	立川祐路／R・ライアン	SC430	41
10	17	金石年弘／塚越広大	NSX	40

GT300クラスは大混戦！ なんと6チームがタイトルの可能性を残して 最終ツインリンクもてぎラウンドに突入！！



織戸学／片岡龍也組 IS350



新田守男／高木真一組 ガライヤ



田中哲也／平中克幸組 フェラーリF430

SUPER GT史上まれにみる接戦が続いているGT300クラスは、そのまま最終戦に突入することになった。第8戦を終えてIS350の織戸学／片岡龍也組が74ポイントを獲得してランクトップ。これを3ポイント差でガライヤの新田守男／高木真一組、フェラーリF430の田中哲也／平中克幸組の2チームが、さらには7ポイント差でRX-7の谷口信輝／折目遼組が追う展開だ。

他に紫電の加藤寛規／吉本大樹組が63ポイント(吉本は1戦欠場で58ポイント)、フェアレディZの星野一樹／柳田真孝組が58ポイントを獲得。ここまでの6チームがタイトルの可能性を残しているのだ。

まさにランク上位チームはポイント差もなく横一戦と言っていい状況だ。ポイント的に厳しい紫電の加藤寛樹組も昨年予選PPを獲得するなど、ツインリンクもてぎを得意としており、当然優勝を狙ってくるはず。フェアレディZの星野一樹も05年に予選PPから優勝の実績があるだけに、上位争いに加わるのは間違いないだろう。

6チームのどこが栄冠を手にするのかは神のみぞ知ると言った戦いとなった。そこにどんなドラマが待ち構えているのか、その眼でしっかりと確かめてもらいたいものだ。

GT300ポイントランキング(第8戦終了時点)

Pos.	No.	ドライバー	マシン	ポイント
1	19	織戸学／片岡龍也	IS350	74
1	43	新田守男／高木真一	ガライヤ	71
3	11	田中哲也／平中克幸	フェラーリF430	71
4	7	谷口信輝／折目遼	RX-7	67
5	2	加藤寛規	紫電	63
6	2	吉本大樹	紫電	58
6	46	星野一樹／柳田真孝	フェアレディZ	58
8	81	青木孝行／藤井誠暢	フェラーリF430	51
9	33	木下みつひろ／影山正美	ポルシェ911	45
10	74	井口卓人／国本雄資	カローラアクシオ	26

最終戦はハンディウエイトなしのガチンコ勝負！GT最速マシンを決める1戦となった

今年のSUPER GTは獲得ポイントによってハンディウエイトが課されることになった。獲得ポイント×2kgのハンディが続き、第8戦で獲得ポイント×1kgに軽減された。それでもランクトップの本山哲組GT-Rは63kgものウェイトを搭載しなければならず、「やはりハンディウエイトが響いた。マシンが重くてペースを上げられなかったし、タイヤの摩耗が予想以上だった」と、語っていたほど。

だが、この最終戦ツインリンクもてぎの戦いはハンディが撤廃される。つまりハンディウエイトなし。そのマシンの本当の実力でレースが戦われることになったのだ。これはドライバーにとっても「ハンディウエイトが厳しかった」などの言い訳ができない状況。まさに真剣勝負だ。今季開幕戦もハンディウエイトなしだったが、ここまでの間に各マシンは進化を遂げており、今シーズン最も速く、そして最もハイレベルな戦いとなるのは間違いないだろう。

ホンダ エキサイティングカップ ワンメイクレース～シビックインターシリーズ～第7戦 タイトル争いはトモアキ、松井隆幸、8ポイント差の最終決着！



シビックワンメイクレースの最高峰がこのインターシリーズ。岡山国際サーキット、鈴鹿サーキット、富士スピードウェイ、スポーツランドSUGOと、全国のサーキットを転戦し、このツインリンクもてぎで最後の戦い(第7戦)を迎えることになった。第6戦を終了した時点で4勝を記録したトモアキが97ポイントでランクトップ。2勝を記録した松井隆幸がわずか8ポイント差でこれを追う展開。タイトル争いはこの二人に絞られ、一騎打ちの状況。どちらが有終の美を飾るのが注目される。だが、タイトル争いからは脱落したが、一矢を報いようと優勝を狙うライバルたちが2人の争いに大きな影響を与えるかもしれない。激闘のシーズンを締めくくるにふさわしいバトルが展開されそうだ。

ニッサン マーチ チャンピオンカップ

2003年以来の歴史に幕を閉じるニッサン・マーチカップ。

ラストレース優勝の栄冠は誰の頭上に輝くのか！？

2003年の初開催以来、その愛くるしいスタイルで多くのファンに親しまれてきたワンメイクレース、ニッサン・マーチカップが今シーズンで7年に及んだ歴史の幕を閉じることになった。今シーズンはともに5戦による東日本シリーズ、西日本シリーズがすでに終了。「マーチチャンピオンカップ」として両シリーズの精鋭たちが、ツインリンクもてぎに結集。最後の戦いに臨むことになった。マーチカップラストレースウィナーの栄冠をかけた戦いが始まる。



SUPER GT決勝翌日、11月9日(月)に開催！

Honda GT チームドライバーとエンジョイドライビング

伊沢拓也選手(ARTA NSX)と細川慎弥選手(RAYBRIG NSX)によるドライビングスクールを、SUPER GT最終戦の決勝レース翌日<11月9日(月)>にツインリンクもてぎで開催！SUPER GTのトップドライバーがブレーキング、コーナリングなどのテクニックを伝授！また、「SUPER GT Round9 もてぎ GT 250km レース」の観戦券を購入されたお客様には、何と！お得な割引サービスをご用意いたしました。このチャンスを逃さず、ぜひご参加ください！

- 日 時：11月9日(月)8:30～16:30 ※雨天決行
- 場 所：ツインリンクもてぎ アクティブセーフティトレーニングパーク(ASTP)
- 内 容：ブレーキ／スリパリーコーナリング ※特別講師添乗アドバイス
高速ブレーキ／中・高スラローム／先導コース走行(5台1組4グループ)
特別講師同乗体験／STOP&GO単独コース走行
- 参加料：・25,200円(税込／昼食付)
・「SUPER GT Round9 もてぎ GT 250km レース」の観戦券を購入されたお客様
1)観戦券を購入されたお客様は10%OFFの22,680円(税込／昼食付)。
2)Hondaファンシートを購入されたお客様は15%OFFの21,420円(税込／昼食付)。
※参加料は当日受付にてお支払いいただきます。
※受付時にチケットの半券が必要(大人券をご購入されたお客様のみ)となり、半券をお忘れの場合は定価の25,200円(税込)となりますので、ご注意ください。
- 参加資格：普通運転免許証をお持ちの方(持込車両該当免許保有者で当日車両を持ち込める人)

※参加車両などの詳細、およびお申込みについてはホームページをご覧ください。

“ありがとうNSX” 参戦終了に伴うメモリアルイベントを開催

1997年の初参戦から13年間、JGTC(全日本GT選手権)、SUPER GTの舞台で活躍してきたNSXが今大会を持ってその栄光の歴史に幕を閉じる。ファイナルランとなる最終戦もてぎラウンドの会場ではメモリアルイベントが多数開催される。



NSX-GTトークショー

NSX-GTに縁のあるドライバー、チーム関係者、エンジニアによるトークショーを開催

- 日時: 11月8日(日)
- 場所: 中央プラザ Hondaブース

歴代NSX展示 & コックピット体験コーナー

かつてJGTC、SUPER GTに参戦した歴代NSXを展示。さらには展示マシンのコックピットに乗れる「搭乗体験」も開催。

- 日時: 11月7日(土)、8日(日)、終日
- 場所: 中央プラザ Hondaブース
- 展示車両: 1997年式avex号、2000年式castrol号、他。(予定)

NSXオーナーズクラブパレード

NSXが大集合！NSXオーナーズクラブによるパレード走行を決勝日のピットウォーク中に開催！

- 日時: 11月8日(日)11:00～
- 場所: ロードコース(東コース)

NSXラストランを応援しよう！ スペシャル特典満載の“Hondaファンシート”

【特典1】オリジナル応援グッズをプレゼント！

Hondaファンシート(前売観戦券)ご購入の方先着2,000名様にHonda NSX-GT応援マフラータオルをプレゼント！

※グッズは変更となる場合がございます。

【特典2】ドライバートークショーを開催！（予定）

走行の合間を縫ってHonda Racingドライバーがファンシートエリアに登場！

※レーススケジュール、その他の理由により 変更または中止となる場合があります。

※ドライバーは変更になる場合があります。



※写真はイメージです

大人(高校生以上)	子ども(3歳～中学生)
5,000円	500円

イベント情報！

オープンピット(公開車検)

走行前の緊迫したピット内の状況と、SUPER GT車両がピット内で受ける公開車検をピットレーンから見学できます(ピットウォーク形式)。



- 日時: 11月7日(土)7:45~8:45
- 場所: ロードコースピットロード
- 対象: パドックに入場できるパスをお持ちの方

GTキッズウォーク

ピットウォークは混雑していて子供と一緒に心配という家族連れに朗報！SUPER GTではもうおなじみの、お子様連れの方のみが参加できるGTキッズウォークが、11月7日(土)の公式予選終了後に行われます。



- 日時: 11月7日(土)16:00~16:40
- 場所: ロードコースピットロード
- 対象: 中学生以下のお子様とご家族の方
(お子様1名に対し同伴者は2名まで)

ドライバートークショー

アツい戦いを繰り広げるドライバーたちが、レースに挑む心境や、裏話など、ここだけの貴重なトークが聞けるかも！?



- 日時: 開催日時未定
- 場所: グランドスタンドプラザ特設ステージ

熱気球搭乗体験

SUPER GTマシンが走行するロードコースやツインリンクもてぎ周辺の景色を、空の上からお楽しみいただける「熱気球体験搭乗」が登場！



- 日時: 11月8日(日)時間未定
- 場所: スーパースピードウェイ
3-4ターン内側グリーンエリア
- ※詳細はホームページをご覧ください

ピットウォーク

レーシングマシンをもっと間近でみたい！マシンやキャンペーンガールを撮影したい！お昼のインターバルに実施するピットウォークにぜひご参加ください。



- 日時: 11月7日(土) 11:50~12:35
11月8日(日) 10:50~11:40
- 場所: ロードコースピットロード
- 料金: 11月7日(土) **2,000円**
11月8日(日) **2,000円**(8日分は完売いたしました)

8日(日)のピットウォーク中には、メインストレートでレースクイーンウォークを開催！

サーキットサファリ

レーシングカーが走るツインリンクもてぎロードコースを、バスに乗ってコースイン。その真横をSUPER GTマシンが駆け抜けていく様は、まさにサファリパークの猛獣ゾーン！

改めてレースの大迫力を体感していただけるイベントです。

- 開催日: 11月8日(日)
- 受付時間: 8:50~9:15
- 開催時間: 9:25~
- 場所: ロードコース



レースクイーンステージ

レースに花を添えるチームのキャンギャルや、SUPER GTイメージガールなどがステージに登場！



- 日時: 11月7日(土)、8日(日)
- 場所: GSプラザ特設ステージ

全ドライバーが集結！

シリーズ最終戦のグランドフィナーレ

シリーズ最終戦のみにおこなわれるグランドフィナーレでは、GT500とGT300の全ドライバーが集結いたします！各メーカーを代表するドライバーへのインタビューにはじまり、最後はサプライズでファンに向けてのプレゼントがあるかもしれない！シリーズ最終戦のグランドフィナーレは見逃せない！

※写真はイメージです。
※イベント内容は変更となる場合があります。
※他にもイベント多数開催！詳しくはホームページをご覧ください。

チケット好評販売中！

■前売観戦券

	観戦券	A席	G席	Z席	5コーナー席
大人(高校生以上)	5,000円	7,000円	6,000円	7,000円	9,000円
子ども(3歳~中学生)	500円	1,500円	1,000円	1,500円	3,000円

※「5コーナー席」には駐車料金(大人券のみ1台分)と決勝日のお弁当・お飲物が含まれます。

■前売駐車券

4輪	2輪
1,000円	500円

その他のチケットに関する詳細はホームページをご覧ください。

鈴鹿、もてぎのチケット・グッズが同時に買えるオンラインショップ
詳しくは <http://mls.mobilityland.co.jp/> にアクセス！

MOBILITY STATION

チケットのお求めは

販売窓口によりお取扱券種・販売期間が異なります。

■ツインリンクもてぎチケットセンター 窓口販売	11月6日(金)16:30まで (営業時間 平日 9:30~16:30 土日祝 9:30~17:00)
■ツインリンクもてぎチケットセンター 電話販売 ☎0285-64-0080	11月1日(日)17:00まで (営業時間 平日 9:30~16:30 土日祝 9:30~17:00)
■MOBILITY STATION (オンラインショップ) PC http://mls.mobilityland.co.jp/ モバイル http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/	11月1日(日)24:00まで(24時間受付)
プレイガイド・コンビニエンスストア ●チケットぴあ ●ローソンチケット ●e+ ●CNプレイガイド ●Hondaウエルカムプラザ青山 ●道の駅もてぎ(栃木県茂木町) ●STEP-1(栃木県茂木町) ●かましん もびあ店(栃木県茂木町) ●道の駅はが(栃木県芳賀町) ●鈴鹿サーキットレースチケットセンター ●三菱UFJニコスチケットサービス(三菱UFJニコス カード会員専用) ●セブンイレブン ●ローソン ●ファミリーマート ●サークルK ●サンクス ●am/pm(一部店舗を除く)	

チケットに関するお問い合わせ：ツインリンクもてぎチケットセンター ☎0285-64-0080